

2024年度 第2回理事会議事録

日時 2024年10月1日 19:00～

場所 WEBミーティング

《出席者》

加藤木(会長/前橋保健所), 番場(副会長/あじさい), 福永(副会長/ケ・クリニック), 富澤(西毛HP), 櫻井(くわのみわり), 中島(高崎社協), 片山(アガティア), 小林(あぜりあ), 中嶋(県立), 小池(田中HP), 天笠(監事/三枚橋HP), 林(支部長/大島HP), 白鳥(代議員/高健大), 横澤(顧問/くわのみわり), 狩野(事務局長/田中HP), 原島, 藤井(事務局/田中HP)

1. 会長挨拶

本日もお疲れ様です。時に副市長と話をしたりすることがあるが、福祉領域について質問され説明するのが難しいと感じることがある。この施設はどこにあるのか、何をしているのか、などと聞かれ、市民・一般の人は良くわからないことがたくさんあると思う。簡単なことは簡単に当然に、難しいことも簡単に説明できることも、必要なのではないかと感じた。

2. 日本精神保健福祉士協会関連

【報告事項】

① 第1回 甲信越上州情報交換会／白鳥代議員

9月1日(日)Zoomにて開催された。群馬支部からは白鳥代議員、林支部長、加藤木会長、番場副会長、福永副会長、狩野事務局長が参加。開催趣旨としては、これまで他のブロックに比べ甲信越ブロック、長野、山梨、新潟はつながりが薄くなっていったということがあった。つながり強化の意味もふまえて各支部の課題など情報交換会を開催した。

各支部の課題として群馬からは組織率低下、担い手の減少、会費未納への対応、IT化などについて説明。新潟支部からは役員のなり手がいない、役員が一人の人が固定して継続しているなどについて説明があった。長野からは会費未納率が50%以上、会費に関する会のシステムが脆弱な部分があるので改善していきたいという話があった。山梨からは会員間のつながりが薄いという話があり、参加している精神保健福祉士での意見交換を行ったとのこと。

第1回目の情報交換会は良い雰囲気で行われた。今後も年1回程度で継続していくこととなった。

今後の代議員の予定としては10月20日に関東甲信越ブロック会議に参加予定。

山梨県が精神保健福祉士の想定される人数から換算した時に、県協会の組織率が2割超えと高い。当会は1.5割と低め。なぜそれだけの組織率があるか尋ねたが、会に入会するものだと思って入会される方が多い様子。社会福祉士会の各都道府県組織率が1.4割程度。比較してもそれほど当会の組織率が低いわけではない。

② 組織強化委員会／林支部長

「精神保健医療福祉の将来ビジョン」が日本協会から2022年に出ている。協会HPからみられる。

3つの視点のソーシャルワーク実践、日本協会として活動していくというビジョンの中で組織強化委員会として、代議員制の深化(任期は1期2年、約150人)につき各都道府県協会から規定数選出することになっている。構成員が多い支部は代議員も多くなるが、その役割が浸透していないため、構成員から意見を求め、集約するのが難しいという話が毎回出ている。代議員制がうまく機能してくように、という点。約12,000人の構成員を15,000人にし、組織率向上を目指すために、都道府県支部の連携をどのように深めていくか、それが組織率、入会につながっていくのではというミッションも与えられている。

9月22日に福永副会長と会議に参加している。その中で印象的だったのは、今年度司法ソーシャルワーク委員会がなくなるなど、様々な改変が行われており残った委員会と新しく出来上がった委員会が混在し、かつ委員も変更になりスタートしている。委員会の中でも組織率をどのように増やしていくか。現状1年間で600人入会、500人退会、100人行方不明という状況のため実質10～30人程度しか増えていない。その状況で15,000人に増やしていくという話をしていかなければならない。

また、二重構造問題もある。都道府県協会に入会する際に日本協会にも入会するよう案内したり、連合体にするなどこれまでも様々な意見があったが実現するのは難しい。入会キャンペーンにより入会促進するなどできることをやっていこうという話を協議した。

学生会員無料キャンペーンが今年から始まった。それを周知し学生のうちにお試しで入会してもらい、継続を促す。ブランディング委員会などと連携し構成員になる意味合いなども話していけたらと思う。

将来ビジョン、各都道府県支部はそのミッションに併せた活動をしてほしいとのこと。そのあたりも踏まえ各自でビジョンを見ていただき、日本協会の活動も理事の皆さんには理解しておいていただきたい。

③ 兵庫大会報告／林支部長

群馬県精神保健福祉士会

9月27、28日、兵庫県姫路市で開催された。テーマは「ひらく」。12,000人近く集まった様子。お金がかかっているなという印象。懇親会も愛媛大会以上に人が集まっていた。課題としては将来の担い手やどういった実践を展開していくか、転換期かなと感じる印象があった。市民公開講座の参加者が800人。

行政報告が一般的な話に加え「いただきりりちゃん」やススキノのラブホの殺人事件など一般の人も興味を持ちそうな話も持ち出し、それがすべて厚労省の所管なんだ、といった話もありいつもと違う印象があった。

兵庫県知事の代理で話した保健福祉部長。そのあと姫路市長が話をされたが、自殺された県職員の親友だった。その話が印象的だった。兵庫県と姫路市のちょっとした確執のようなものも感じた。

今回は福岡県小倉市で開催される。

④ 災害支援体制整備・復興支援委員会／番場理事

・災害対策計画更新について

甲信越上州情報交換会に参加し、災害対策に対して検討事項、情報共有の一つとして話された。山梨などではマニュアル的にしっかりと作成されていた。その中で加藤木会長から群馬としてマニュアルとしてどう考えていくかという投げかけもあった。群馬県もどういう形でどういう計画を持っているのか、整理認識をしっかりと持とう、と災害支援委員会に話を出したりした。

対策員しか見られない状況だが、群馬県の計画がある。これは日本協会に提出しているもので、今年度会長副会長も変わったことで見直す必要がある。直前になってしまったが理事会WORKSにも上げた。赤字になっているところの変更点になる。災害支援委員会でも意見を募ったなかで、この計画をマニュアルとして準備しておくことで問題ないだろう、と意識統一にはなった。ただ、もう少しフローチャートのようなわかりやすく準備した方がよいのではという意見もあった。

この内容で承認いただければ、この内容で改めて日本協会に提出したいと考えている。

→賛成多数で承認。

日本協会に提出し、WORKS掲示板に上げたい。

⑤ その他

- ・日本協会からは特になし。
- ・10月20日にブロック会議に参加するが、まだ協議事項が上がってきていないため、上がってきたら共有させてもらう。

3.群馬県精神保健福祉士会関連

【事務局報告】

①入退会報告／事務局

- ・入会者 7月31日から3名 入金あるが入会届未提出1名
 - ・退会者 1名会費未納なし
退会届は出ているが未納3名。未納3年目で資格喪失となる。
 - ・扱不明者…会費のみ入金になっているが届けなし2名(事務局対応)
- 承認

②後援依頼 1件

一社)日本集団精神療法学会学術大会 2025年3月22日～23日

○承認

【各委員会報告・協議事項】

① こころのふれあいバザー展委員会／小池理事

・報告書参照

今年度は開催見送り。9月12日準備会開催。先々は精神障害者釈迦復帰協議会に事務局を担ってほしいところだが、1～2年は精神保健福祉協会で事務局及び予算管理などをしていくこととなった。

例年群馬県庁で開催していたが、もう少し集客があれば、というところでスマーク伊勢崎や道の駅赤城などに打診、開催時期の変更も検討してもよいのではという意見があった。来年は10月開催予定。

各団体の役割分担として当会は準備会、打上、ポスター。皆さんに依頼するとしたら、広報といったところ。

今回は10月に打ち合わせ会議開催予定。委員会も同様。

② 政策提言委員会／片山理事

・報告書参照

昨年は公明党への要望書提出ができなかったが、今年度は8月27日に加藤木会長、林支部長に公明党意見交換会に当会として初めて参加していただいた。20分程予定が伸びた。

内容としては10項目を提示。優先順位を付ける必要があった。熱心に話を聞いていただいた。交換会に参加

してよかった。広報して欲しい。

自民党には医療ソーシャルワーカー協会、社会福祉士会から声をかけてもらうよう依頼した。

③ ネットワーク強化委員会／福永理事

・SWD

来年度の主幹は社会福祉士会だが、ソーシャルワーカー連盟会議で話を詰めて来たい。

・地域フェスティバル

11月開催予定。現在準備中。

・職域メンタルヘルス交流会

幹事会が8月30日に開催された。11月14日に研修会開催予定。

当会も幹事会に入ることになり、承認を得た。研修会にMHSWからシンポジストとして出てほしいと依頼あり。茂呂理事に依頼。

・いのちの電話相談事業

8月に会議開催。9月26日暮らしと心の相談会を実施。弁護士との相談会。当会から加藤木会長、工藤理事が参加。相談者6名。弁護士、精神保健福祉士もしくは公認心理士、県の保健師の3人1組でワンストップ的に受けた。来年度も開催予定。他県は今年度は9月の1回だけ。報告書は作成中のため作成でき次第WORKSに上げる。「いのちを守る何でも相談会」を1月開催予定で準備中。この相談会は司法書士会と行う相談会になる。

④ 司法ソーシャルワーク委員会／福永理事

・報告書参照

7月25日ぐんま・つながりネット会議。

9月10日司法SW委員会。検察からの依頼について10ケース程度の事例報告。11月30日に研修を開催予定。現在準備中。

9月23日ぐんま・つながりネット研修会。埼玉弁護士会から小林弁護士、当会の加藤木会長が生活保護について講師を務めた。来年2月、3月頃につなごうネットの研修会を予定。

⑤ 災害支援委員会／番場理事

・報告書参照

9月12日第2回委員会開催。能登半島地震への派遣など。

DWAT関連では能登半島地震に関する災害支援活動報告会が9月3日に開催され委員3名参加した。

SWDのシンポジストとして長坂さんが登壇されたことを報告。

首都圏災害ネット研修は2月の土曜日で調整。今年度は埼玉周辺での開催。DPATとして派遣された千葉県協会の人の活動報告となっている。

災害支援も連盟との兼ね合いもあり、今月連盟会議で位置づけを検討してくることとなっている。

計画、マニュアルについて検討。シミュレーション、机上訓練をどのようにしていくか等議論を始めている。フローチャートを作成しようということになった。

会員向けの研修は来年1月に研修を行うことで準備にとりかかっている。石川県の岩尾さんをお招きすることとなっている。

〈検討・確認事項〉

DWAT研修についての派遣依頼について個人に来てしまうことがあったので、会に依頼をしてほしいとお伝えし、そのようになっている。

10月8日 「DWATの専門性向上のための研究会」 DWAT登録員派遣3名

10月11日 館林市水害想定避難所設営訓練1名

10月17日 前橋圏域 派遣シュミレーションフォローアップ研修1名

現在この3件の派遣依頼が来ている。会を通した派遣ということで、承認をいただきたい。

○承認

県士会を退会した人に研修参加を依頼される場合、本来、加盟団体として協定を結んでいるため、当会を退会した時点でDWATを外れるのではないかと、との話もあった。当会から推薦という形で個人の活動として対応してもらった方が良いのでは、ということで事務局からDWAT側の意向も確認していくこととなった。

⑥ 基幹研修委員会／富澤理事

10月26日(土)開催。参加者32名。9月20日会場確認に行ってきたが、予約していた部屋では大きすぎるため一部会場をキャンセル予定。

グループワークは6～8グループになる。10月4日に委員会のため、正式に決めたい。

⑦ 教育研修委員会／小林理事

・報告書参照

第5回委員会開催。

第1回研修会は初任者向け研修として「インテークについて知ろう」を開催。参加者29名。講師3名。研修時には台風が接近していたため委員会で話し合いを行い、研修中止決定などのアナウンス方法等も検討を行っていた。結果、台風の影響は受けず研修を予定通り開催できた。

第2回研修会は11月3日(日)オープンダイアログについて、埼玉県のだるまさんクリニックと訪問感がおステーションの方がチームを作りオープンダイアログに基づいた支援を行っているとのことで講師4名で話をさせていただくことになっている。

〈検討・確認事項〉

- ・他士会への研修広報の方法について
→周知するには県内は会長が良いのでは。支部関係であれば支部長。その都度住み分けし依頼する。
- ・他の都道府県の取り組みで良いと思ったのが、どこも初任者研修は人が集まるが、5～10年目、10年目以上の研修、それから先の研修というのが効いているようだ。委員会活動に活かしていきたい。

⑧ 広報委員会／福永理事

- ・報告事項なし
広報誌について詰められていない。委員長、担当理事と検討していきたい。

〈検討・確認事項〉

LINEワークスの利用を勧めていきたい。
LINEワークスをスマホで見ている人の中にはワードなどのソフトを利用したものが開けないという話を聞く。PDFなら開けるようなので、送信する人がひと手間入れる必要がある。
不得手な人に向けて、どこを見れば何が見られる、といったような説明、マニュアル的なものも用意してほしい。インストールしてからログインする方法なども。プリントアウトするものに関しては当会HPでもアップしていく。
LINEワークスの公式でマニュアルもあるので見てもらってから事務局で対応するようにする。
→12月定例会の発送時にチラシなどを入れて事前告知をしても良いのでは。

〈その他〉

現在、Yahooのメールアドレスでメーリングリストに登録している方について、エラーメールになり不着通知が返送されてくる場合がある。メーリングリストから送信されたメールがYahooメールで迷惑メール扱いになっていることが原因と思われる。斯様な状況を承知しておいてほしい。

⑨ 倫理委員会／中嶋理事

8月22日、9月24日委員会開催。委員会に求めるもののアンケートをとる、研修会を開催する予定。1月発送に合わせたい。アンケート実施期間は10月7日から11月7日でLINEワークス、MLで行う予定。

⑩ その他 報告事項（理事会チャットで周知済みの内容のため、掲載報告のみ）

- 8月：[定例会] 9日 第2回定例会（東部・北部理事） 「精神保健福祉法 改正2024 のポイント」
[出席] 5日 群馬県ソーシャルワーカー連盟代表者会議 →加藤木会長・番場副会長・福永副会長
[出席] 21日 公明党群馬支部意見交換会 →加藤木会長・林理事
[出席] 30日 群馬県職域メンタルヘルス交流会 →加藤木会長・白鳥代議員、Zoom参加：福永副会長
[出席] 31日 日本協会 柏木昭名誉会長を偲ぶ会 →櫻井理事
[推薦] 医療功労賞 →横田美和さん
[推薦] 群馬県社会福祉協議会会長表彰 →鈴木慶三さん（西毛病院）
[推薦] 精神医療審査会委員（追加） R6.9.1～ →佐藤晶彦さん（田中病院）
[対応] 駒澤大学 群馬県における実習先の聞き取り →加藤木会長
[対応] 福祉事業所の職員のメンタルケアについて →事務局原島さん

9月：[研修会] 1日 教育研修委員会「インテークを知ろう ～観て、考えて、自分のものに～」
[開催] 1日 甲信越上州情報交換会 →加藤木会長・番場副会長・福永副会長・林理事・白鳥代議員・狩野事務局長

- [依頼] 4日 研修会講師社会福祉士会障害福祉委員会 →林理事
[出席] 22日 日本協会 組織強化委員会：林理事、福永理事
[参加] 26日 暮らしとこころの相談会（県&弁護士会） →加藤木会長・工藤理事
[全国大会] 27～28日 ひらく 一あたらしい時代の精神保健福祉―（兵庫県）

10月：（予定）

- [定例会] 11日 第3回定例会（中部理事）
テーマ：「メモの取り方講座」
日時：2024年10月11日（金）14:00～15:30

群馬県精神保健福祉士会

講師：毎日新聞記者

方法：Zoom、後日アーカイブ配信

[出席] 9日 群馬県ソーシャルワーカー連盟代表者会議 →加藤木会長・番場副会長・福永副会長

[派遣] 11日 館林保健福祉事務所「水害想定・避難所設営訓練」 →小湊恵造さん

[出席] 20日 日本協会 関東甲信越ブロック会議 →林支部長・白鳥代議員

[研修] 26日 基幹研修Ⅱ

11月：[研修] 教育研修委員会「オープンダイアログ、実際はこんな感じです！」

2月後半に定時理事会

来年度総会5月あたり（平日開催であれば）

4.その他

- 8月9日定例会報告 東部/北部ブロック担当

報告参照。虐待防止について倉澤係長にお話いただいた。10月末までアーカイブ配信中。

- 10月定例会オンデマンド配信はあるのか？

→演者がOKであれば。

- 柏木昭さんを偲ぶ会／櫻井理事

台風の影響で参加者数は人数としては少なかったが、柏木先生の人柄、たくさんの人を育ててくれた、繋がりを考えさせられた良い会だった。実践するためには理論やその背景にある根拠やいろいろな思い、背景などがあり実践に活かせるのだ、と感じた。

<文責：原島>